



美しい明日にむかって

(校歌タイトルより)

上山市立宮川小学校

学校だより 第5号

令和8年8月27日

文責：平賀 正和

みんなで考え、力をつける2学期に

1か月の夏休みが終わり、子どもたちの元気な声が学校に戻ってきました。78日間の2学期のスタートにあたり、始業式で次のような話をしました。

7月24日の1学期終業式で、私から一つだけお願いをしました。それは、夏休みを安全に楽しく過ごしてほしいということでした。皆さんが大きな事故なく今日の2学期始業式を迎えることができ、とてもうれしく思います。また、夏休み中には、熊本で地震、千葉では大雨の自然災害がありました。被害を受けた小学生は今どんな思いでいるのでしょうか。私たちが予定通り2学期を迎えることができることは、決して当たり前のことではなく、ありがたいことです。

さて、今日から始まる2学期は1年で一番長い学期です。運動会、芋煮会、学習発表会など、大きな行事もたくさんあって、皆さんの活躍や成長が楽しみな学期です。そんな行事の話もしたいのですが、学校は何と言っても勉強するところなので、学習について二つ話をします。

一つ目は、「2学期は一番長いので、一番学力を付けることができる」ということです。

学校では1日に4～6時間授業がありますが、2学期はいったい何時間授業があるでしょう？学年によっても違いますが、6年生は420時間、1年生でも354時間授業を行う予定です。

授業には、毎時間「めあて」があります。その1時間で皆さんに身に付けてほしいことです。この「めあて」をどの時間もコツコツ達成していくと、2学期が終わるころには、6年生は今よりも420個できることが増えていることになります。420個分かしくなっているのです！

しかし、悲しいことですが人間は忘れてしまう生き物です。皆さんも、授業のときは理解したはずなのに家で宿題をしたら忘れていた、分かっていたはずなのにテストでは解けなかった、という経験はありませんか？ 2学期せっきく420個のことを身に付けたのに、3学期になったらほとんど忘れていては困りますよね。

そこで、学習の話二つ目です。それは、「授業ではたくさん考えてほしい」ということです。なぜならば、たくさん考えて、または、たくさん苦労して身に付けたことは、忘れにくいからです。

先生方は教えることが好きで先生になったので、皆さんに勉強のことを聞かれたらすぐに教えたくります。でも、2学期は心を鬼にして、すぐに教えることは我慢します。決して意地悪ではありません。皆さんにたくさん考えてもらいたいのです。答えをすぐに教えてもらうより、皆さんが自分で考えてできた方が、本物の力が身に付くからです。ですから、皆さんも少し難しいことがあっても、すぐに先生を頼らないで、まずは自分でじっくり考えてみてください。

でも、一人で考えることには不安もあると思います。決して一人ではありません。皆さんには友達があります。友達と一緒に、たくさん話ししながら一生懸命考えてほしいのです。友達と話をすると、いいことがたくさんあります。例えば、友達も同じ考えだったら、自信を持てます。逆に、友だちが違う考えだったら、自分が思いつかなかった考えを知ることができたり、自分の考えと友達の考えを組み合わせることによって、もっとよい考えが生まれたりします。このように、授業中みんなで考えたり、話し合ったりすることは、とても大切なことなのです。

2学期が始まるにあたり、学習について二つ話をしました。2学期の終わり、本物の学力を身に付けた、たくましい皆さんの姿が見られることを、楽しみにしています。

※これから変化の激しい社会に出る子どもたちには、主体的に課題解決に向かったり、他者との対話を通して考えを広げたり深めたりすることが求められており、学校には、かつてのように教師が一方的に知識を伝達する授業からの脱却が求められています。

※ただし、個々の児童に応じたわかる丁寧な指導も、これまでどおり大事にしていきたいと思います。